ロッキーのHP→www.asahi-net.or.jp/~sd5h-mksm/rocky top12.html

PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第77号

2003 8.8 発刊

Yeah! マネージャー No.36
―フェスのつまみの巻― 作チーフ井上

小柳さんはフェスの時、酒飲みの個に対して全くうれしくないつまみをくれた人だった

拝啓 August

長ーい梅雨がようやく開けましたが今後は33℃(ぐらい)のくそ暑い夏まっ盛りになるという噂です。7月は低迷していたロッキーもお客さんがぼちぼちいらしております。やっぱビールは暑くなきゃね!!

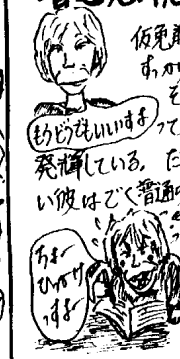
マスター田口の不幸デラックスコーナー
スタンレー丸山に煙草をぱくられて激怒事件!

7月のある日のこと、あまりに金がなく煙草銭をえつらくなって追いつめられたスタンレー丸山が子供だまし程度の悪事を思いついた。

さようなら! 内山朋え!

約7年の長きにわたってロッキーで働いた内山朋え(30)がついにロッキーを卒業する。そして日比谷公園内にある名門レストラン「松本楼」にホール係として目出たく就職することになりました。彼も三十路を迎え新たな人生に向かって進もう!と決心したのでしょう。20代の青春の多くをロッキートップで過ごし、Gラン、フォギュンなど一般社会では全く役に立たない知識を身につけ、しまいにはブルーマンカリーを箱根フェスで歌うまでになった彼… 今後もブルーグラス・カントリーを忘れないで頑張ってほしい。そしてイロハリムな気分になったらロッキートップに飲みに来いよ!

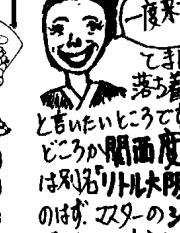
スタンレー丸山の教習所日記
普通免許だろ! やる気なし宣言…



仮免前の効果測定で4回落ちすっかり意気消沈したスタンレー丸山。その後は一度も教習所に行ってない、という根性なしぶりを発揮している。だいたいにおいて謙虚しめ強い彼はどーく普通のテスト問題においてもうと疑ってばかり、失敗しているのだ。出題者を怨んでばかりいないで立て! 丸山! まに合めるんだ! 君に残された時間はあと3ヶ月足らずしかないのだ…

ロッキーの隣、ゴールデンハートに行こう!
―これがゴールデンハートだ!―

ロッキートップを出てすぐ右の店。そがゴールデンハートだ。元ロッキースタッフの林まどかちゃんがママをやってます。



かつてはバースを弾いてブルーグラスを歌ったりもしてましたが今はちょいと大ぽくなり落ち着いた銀座のママになりました! と言いたいところですが実際はあまり変わってない。どこか関西度をさらに増して、ゴールデンハートは別名「リトル大阪」とも言われてます。それもそのはず、マスターのシンさんはあまりにも! あまりにも! 関西なお人柄なのです。

シンさんは心斎橋で「一人レッドツェッペリン! 全席自由」というのを長年やっていた超ロッカーですがフォークからGS、歌謡曲となんでもギターで歌ってくれます。関西らしいおもろい小話もたーくさん(ぎょーさん!)かって若かりし頃神戸でライブの後「中華食べに!」と車をぶっ飛ばし横浜まで来たまでは成功良かったのだが実際「メニューはお決まりですか?」と聞かれ「チャンジャメンとぎょうざ…」とそこらのラーメン屋のメニューしか言えんかったの一という話も受けました。とにかく吉祥酒場がサブタイトル。飲んで騒いで歌って(カラオケじゃなく生ギター演奏!) とにかく楽しいはず。料金はセット(1ドリンク付)¥3000+追加オーダーです。ビルモンローにあきたらツェッペリンで行こう!

どこへ行くブルーグラス⑤

…私チーフ井上がロッキートップに入ってブルーグラスと出会ってからの思い出をたどりながら、今後ブルーグラスがどこへ行くのか、を考察するコーナーです。

コンベンション初出演…そしてチーフ井上になった …1992年8月の終わり、僕は箱根の山中にいて、得体の知れぬブルーグラッサー達とジャムをしていた。まだ一曲も曲としてブルーグラスを認識してなかった僕は得意の吉田拓郎を歌い続けたのだがバンジョー、マンドリンが意外にも器用についてくる。すごい人達だなーと思いながら朝を迎えるのだった。箱根の朝は肌寒かったが、一睡もしていないナチュラルハイ状態は何とも心地良く、初フェスの興奮もあってか気分良好だった。その日の昼過ぎ、**コンベンション**というのがあって、それは誰でも参加OK。しかも参加者全員にもれなくCDをプレゼント。と聞き出てみよう!と思った。実は9月にはロッキートップのチーフとして働くことに決定していたのだ。その**顔見せ公演**にもなるなと思い、バンジョー越田に無理矢理、拓郎の**「結婚しようよ」**を弾かせてステージに立つことにした。初めて見たコンベンションは何やら**楽器を使った芸大会**といった感じだった。中でも衝撃的だったのは**早川流**という人が**「フォーク! オン! ザ! ウォーター!」**と叫びながら煙草数十本に火をつけて吸ってその煙草をギターのホールの中に全てぶちこんで、煙もくもくの中、再びフォーク・オン・ザ・ウォーター、と絶叫しながら去っていく、というすさまじい芸だった。フォーク・オン・ザ・ウォーターとフォークはブルーグラスじゃない…とつぶやく俺だった。そして自分は「はじめまして! 9月からロッキートップのチーフになる井上といいます」と初々しく「結婚しようよ」をたどたどしく拓郎っぽく歌った。期せずして会場から手拍子が起こり、「似てるなー!」という声があちこちで聞こえた。そして歌い終わると暖かい拍手。なんか優しい、いい人達だなーと思った。そしてコンベンションも終わりステージから降りると「よかったよ、拓ちゃん!」と声をかけてくれた人がいた。**奥沢さん**という人だった。そしてあっという間にロッキーに吉田拓郎みたいな奴が入ってチーフになったらしい、という情報がひろがり、かりそめ「チーフ!」と呼ばれるようになった。**チーフ井上**が誕生したのだった…